

国際医療情報標準 HL7 FHIR

(仮)

一般社団法人 医療情報学会 監訳
 B5判 ・ 並製 ・ 288 ページ 本体予価 7,800 円
 ISBN : 978 - 4 - 621 - 未定 - 指定配本メ切 12/20

医療情報を共有・活用するために！

Q1：HL7 FHIR（えいちえるせぶん ふあいあ）ってなんですか？

A1：電子カルテなどのシステム間でやり取りするための項目や記入ルールを定めた国際的な規格です。その最新の仕様が2017年リリースのFHIRです。

Q2：HL7 FHIRを使うとどのような利点があるの？

A2：項目や記入ルールがばらばらだと、違うシステムどうしての情報伝達がうまくいきません。項目や記入ルールの取決め＝情報の標準化をすることで、どのシステムを使っている、必要な情報を正しく伝えあうことが出来ます。

Q3：どのような人たちが必要としているんですか？

A3：医療システム開発メーカー/医療電子機器メーカー/ヘルスケア事業/行政、地方自治体/医療施設などのIT部門担当者や技術者などです。

現在、日本では、地域医療連携や救急・災害医療提供体制の強化などの観点からも、国を挙げて医療情報の共有を推し進めており、HL7 FHIRはその中核を担うと期待されています。本書は国内でもまだ数少ない、HL7 FHIRについての知識をまとめて得られる書籍です。医療情報書籍棚又はシステム開発実務書を扱う棚にてご展開お願い申し上げます。

《目次》

Part I 概論

- 1 健康情報学の簡単な歴史と概要
- 2 アメリカヘルスケアシステム
- 3 現実世界における健康情報科学

Part II 患者と対面する医療を越えて

- 4 権限を手に入れた患者
- 5 健康情報の交換
- 6 FHIRの保険者向けアプリ

Part III 相互運用性の本質

- 7 データと相互運用性の標準規格
- 8 前FHIR相互運用性と臨床意思決定支援標準
- 9 FHIR
- 10 SMART on FHIR

Part IV ニューフロンティア

- 11 mHealth
- 12 公衆衛生とポピュレーションヘルス
- 13 分析と可視化

注文書	丸善出版発行	条件：新刊委託	指定配本数	貴店番線印
国際医療情報標準 HL7 FHIR (仮) 一般社団法人 医療情報学会 監訳 B5判 ・ 並製 ・ 288 ページ 本体予価 7,800 円 ISBN: 978 - 4 - 621 - 未定 - 指定配本メ切 12/20 2020年1月 刊行予定			冊	

